

ペイル・ブルー・ドット

澤田真志

一枚の写真を見た

淡く、青く、静かに、「

流れるメロディーを指でなぞりながら

何億光年先を見る

ひとつを忘れながら生きている

ふっと指をさした

「オリオン座」

彼女は今、夜空を歩いている

落ちてしまわぬようにしっかりと手を握った

「ずっと続く」は適度に終わってほしい

赤色巨星はいつかすべてを吸い込んでしまう

数えきれないほどの罪を知る夜空がたまらなく恐ろしい

なあ、ボイジャーよ

今日聞いた「死ね」と昔言われた「死ね」の音

愛されるために、ごくんと飲み込んだ音

優しいを演じたこと

このすべてを運んでおくれ

強く握り返す手が短い夜空の旅の終わりだった

淡く、青く、静かに、卑怯に

私はその点の中にいる